

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 有価証券報告書の訂正報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の2第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成21年12月2日 |
| 【事業年度】 | 第85期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日） |
| 【会社名】 | マーチャント・バンカーズ株式会社 （注）当社は、平成21年7月1日付で商号を変更しており、訂正の対象である第85期有価証券報告書の提出日現在、当社の会社名はアセット・インベスターズ株式会社（英訳名はAsset Investors Co.,Ltd.）でありました。 |
| 【英訳名】 | MBK Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長兼COO 森下 将典 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区内幸町一丁目1番1号 |
| 【電話番号】 | (03)3502-4910（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員CFO兼財務経理部長 宮毛 忠相 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区内幸町一丁目1番1号 |
| 【電話番号】 | (03)3502-4910（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員CFO兼財務経理部長 宮毛 忠相 |
| 【縦覧に供する場所】 | 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） |

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月25日に提出した第85期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態及び経営成績の分析

（3）経営成績の分析

3【訂正箇所】

訂正箇所は__線で示しております。

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態及び経営成績の分析

（3）経営成績の分析

（訂正前）

（3）経営成績の分析

（省略）

（営業利益）

前述の売上総損失、販売費及び一般管理費から、当連結会計年度における営業損失は11,628百万円（前年同期は営業損失1,128百万円）となりました。

前述の売上総損失及び販売費及び一般管理費の状況から、当連結会計年度における営業損失は11,628百万円となり、前連結会計年度（営業損失1,128百万円）に引き続き2期連続の営業損失となりました。

このことから、「4 事業等のリスク」に記載している通り、当社グループには重要事象等が存在しております。当該重要事象等を解消するための今後の取り組みにつきましては、「3 対処すべき課題」に記載している通りであります。

（以下省略）

（訂正後）

（3）経営成績の分析

（省略）

（営業利益）

前述の売上総損失、販売費及び一般管理費から、当連結会計年度における営業損失は11,628百万円（前年同期は営業損失1,128百万円）となりました。

前述の売上総損失及び販売費及び一般管理費の状況から、当連結会計年度における営業損失は11,628百万円となり、前連結会計年度（営業損失1,128百万円）に引き続き2期連続の営業損失となりました。

さらに、今後とも当社を取り巻く環境に厳しさが予想される中、物件売却等により収益水準が見込みを大きく下回るなどの不確実性は残存するため、当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（以下、「重要事象等」）が生じております。

当社グループでは、このような状況を踏まえ、早期の業績回復のための重要課題として、ビジネスモデル・事業領域の再構築、コンサルティング及びアレンジメント事業による収益基盤の強化、経営の合理化・組織の再編成、専門知識や豊富な経験を持った人材の確保・育成・組織化、営業投資資産の更なる圧縮、有利子負債の削減による財務体質の強化の5つの事項を挙げ、取り組んでおります。また併せて、当社グループ全体のコンプライアンス体制、リスク管理体制の強化をさらに進め、引き続き経営の健全性確保に努めてまいります。

（以下省略）